

平成28年7月21日

山口県教育委員会会議案

山口県教育委員会

議案

番号	件名	主管課
1	県立高校の再編整備について	高校教育課
2	学校運営協議会を設置する学校の指定について	特別支援 教育推進室
3	山口県社会教育委員の委嘱について	社会教育・文化財課

議案第1号

県立高校の再編整備について

このことについて、次のとおり決定する。

平成28年(2016年)7月21日

山口県教育委員会

1 再編統合の概要

響高校と豊北高校について、平成30年度に両校を再編統合し、新高校を豊北高校の校地に設置する。

2 関係条例等の改正

1の再編統合に伴う関係条例等の改正を、所要の時期に行う。

響高校と豊北高校の再編統合について（案）

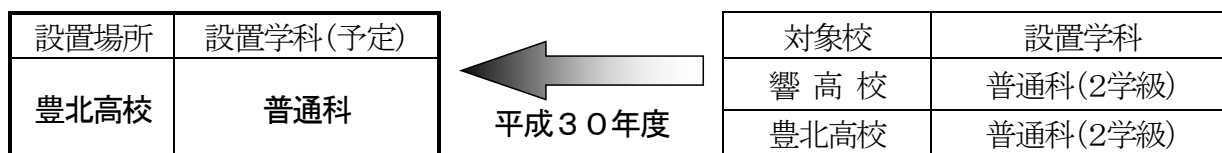
1 新高校のコンセプト

地域と連携・協働する教育活動の推進により、郷土への愛着と誇りを育み、未来社会に対応できる実践力を培う学校

- 夢や希望をもって未来を切り拓く、確かな学力を備えた人材を育成する。
- 郷土への愛着と誇りをもち、地域や人とのつながりを大切にする心豊かな人材を育成する。
- 主体性をもって多様な人々と協働して学び、地域の活性化や課題解決に貢献する人材を育成する。

2 新高校の概要

(1) 再編統合の方向性



	(平成29年度)			(平成30年度)			(平成31年度)			(平成32年度)		
響高校	1年	2年	3年		2年	3年			3年			
新高校				1年			1年	2年		1年	2年	3年
豊北高校	1年	2年	3年		2年	3年			3年			

(2) 新高校への移行

3 教育の特色の方向性 ～ 両校の歴史・伝統や教育活動を継承した取組を検討 ～

(1) 学力の向上により生徒の進路希望に応える教育の推進

～ 基礎的・基本的な知識・技能に加え、それらを活用して課題を解決するための思考力や判断力、表現力などの社会で求められる能力を育成する。 ～

- 国公立大学をはじめとする進学や就職等への幅広い進路希望に対応した教育課程の工夫
 (例) ・国公立大学や難関私立大学に対応したコースの設定
 ・医療・看護系への進学や公務員等の就職などに対応した選択科目の設置
 ・スポーツや観光など両校の伝統や地域の特性を踏まえた教育活動の工夫
- 学力向上をめざしたきめ細かな指導の充実
 (例) ・基礎学力の定着状況に応じた習熟度別学習指導
 ・少人数指導、個別指導による徹底した教科指導
- 実践力を養う多様な学習活動の推進
 (例) ・論述・討論などの言語活動
 ・グループワークや発表などの探究活動
 ・言語や異文化に対する理解を深める国際教育（英語、ハンガール、中国語）
 ・ICTを活用した国内外生徒等との交流

(2) 地域と連携・協働した教育の推進

～ 地域と連携し、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を育成する。 ～

- 社会的・地域的な課題を題材にした課題解決型学習の推進
(例) ・地域の観光資源(自然環境、史跡など)の活用に関する調査・研究
 - ・地域で有する天然記念物の保護や自然海岸の維持・保全に関する環境教育
 - ・地元住民や地域産業等と連携した地域活性化方策の研究(オリジナル商品の開発等)
- 地域の小中学校との小中高連携教育の推進
(例) ・地元小中学校への出前授業
 - ・地域行事への小中学生との共同参加

(3) 生徒の社会的・職業的な自立を促す教育の推進

～ 自己理解の深化を図るとともに、生徒一人ひとりが主体的に進路を選択する態度を育成する。 ～

- 進路意識の高揚を図る、3年間を見通した計画的なキャリア教育の充実
(例) ・インターンシップなどの体験的進路学習
 - ・大学等のオープンキャンパスへの参加や企業見学
 - ・大学生や社会人による講演・出前授業

(4) 豊かな心を育む教育の推進

～ ふるさとを愛する心やコミュニケーション能力、社会性を育成する。 ～

- 様々な人たちとの関わりを通じた多様な体験活動や校外の教育資源を活用した教育の展開
(例) ・地域行事への積極的な参加や各種施設の訪問による地域の方々との交流
 - ・海岸清掃などのボランティア活動
 - ・地域の魅力について理解を深めるテーマ学習(歴史、伝統、文化等)

4 部活動

- 現在、両校で開設されている部活動を可能な限り継続するとともに、中学生のニーズ等を踏まえ、部活動の運営について検討し、部活動の活性化を促進
- 部活動を通じて、心技体のバランスのとれた人材を育成

〔部活動の状況〕

	響高校			豊北高校		
運動部	硬式野球	バレーボール(女)	ソフトテニス(男)	硬式野球	バレーボール(女)	テニス(男)
	ソフトテニス(女)	相撲	バドミントン	ソフトテニス(女)	卓球	サッカー
	バスケットボール*					
文化部	吹奏楽	JRC	美術*	吹奏楽	新聞	ボランティア*
	E.S.S.*	総合家庭*				

* は同好会、研究会

議案第2号

学校運営協議会を設置する学校の指定について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第47条の5第1項及び学校運営協議会の設置等に関する規則（平成27年山口県教育委員会規則第17号）第1条の規定に基づき、学校運営協議会を設置する学校を別紙のとおり指定する。

平成28年(2016年)7月21日

山口県教育委員会

学校運営協議会を設置する学校の指定について（案）

1 指定する学校

- ・ 県立宇部総合支援学校
- ・ 県立下関総合支援学校

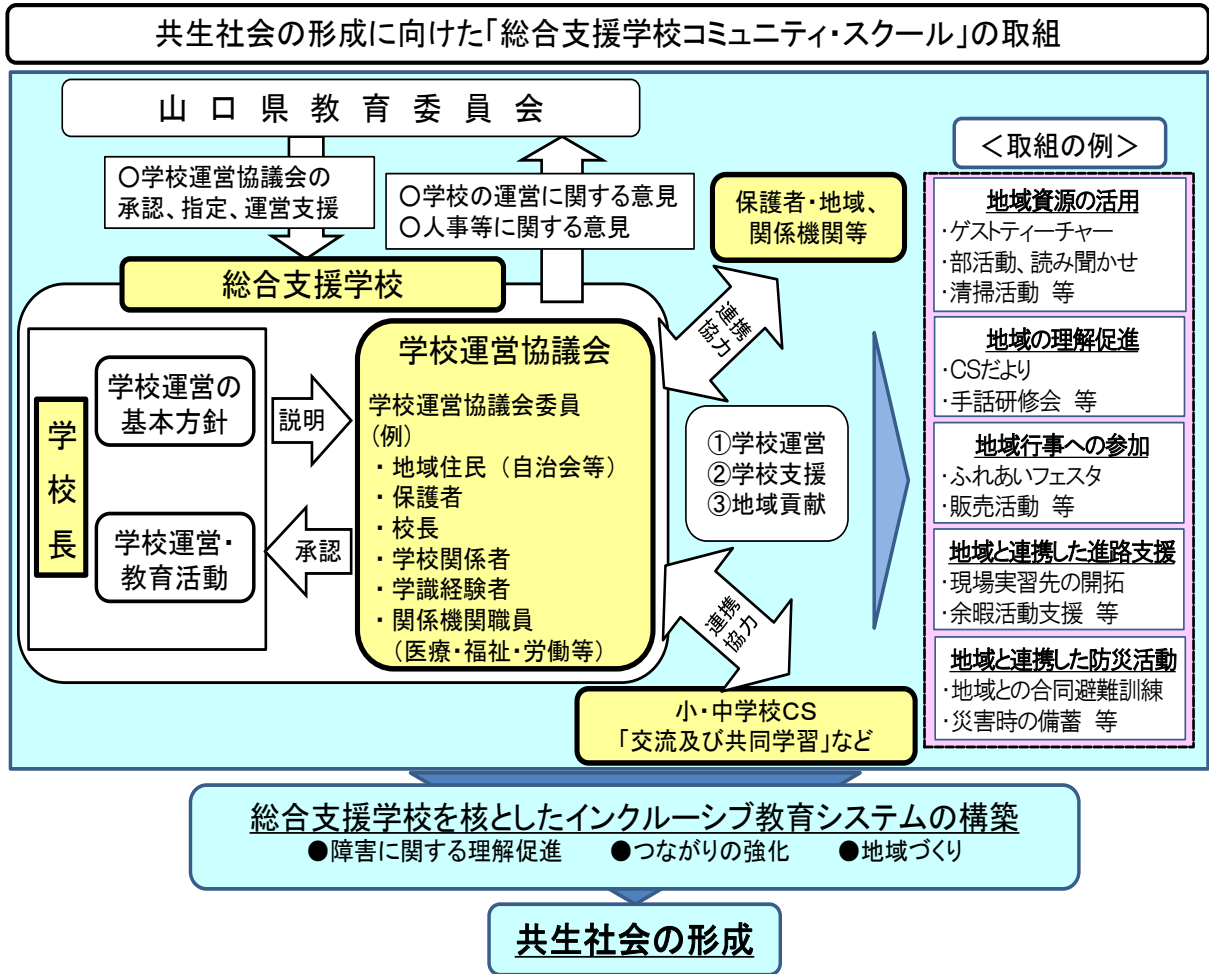
2 指定の期間

平成28年9月1日から3年間

県立特別支援学校へのコミュニティ・スクールの導入について

1 目的

障害のある児童生徒の自立と社会参加を推進するため、学校・家庭・地域が一体となり教育の充実を図ることができるコミュニティ・スクール（以下、「CS」）を特別支援学校に導入し、障害のある児童生徒が安心して地域で生活し、自信をもって社会参加することができるよう社会総がかりによる教育の充実を図り、共生社会の形成を目指す。

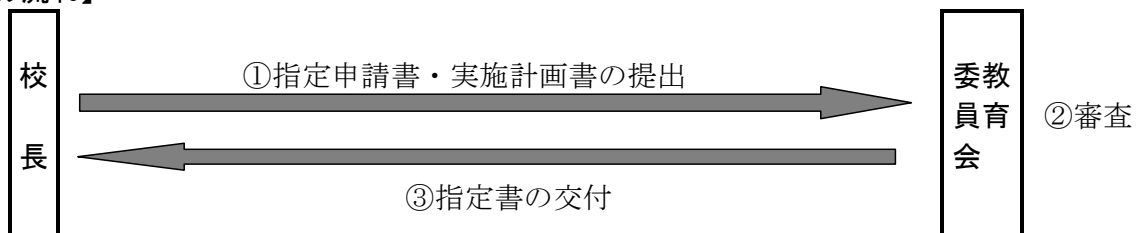


2 導入計画

○平成29年度までに、特別支援教育センターを設置する県立特別支援学校7校にCSを導入 ➤ 内、**2校は平成28年9月1日に先行導入**

○平成30年度までに、**全ての県立特別支援学校（12校）へのCS導入を完了**

【指定の流れ】



3 CS先行導入する2校の特色及び主な取組内容

【宇部総合支援学校】

<特色>

「できることを活かして、地域のために」を目標に掲げ、地域貢献に全校体制で取り組むとともに、立地条件を活かした実践的職業教育の充実を一層促進し、「地域とつながり、地域とともに育つ学校づくり」を目指す。

<主な取組内容>

- ・ 小・中学校PTAと連携した、産業科生徒によるボランティア活動
- ・ 地域の施設や自治会等と連携した清掃活動
- ・ 老人施設と連携した授業「介護福祉」の展開
- ・ 地域の祭りやフェスタ等において、作業学習で製作した「さをり織り」等の販売
- ・ 地域の小・中・高等学校との『交流及び共同学習』

【下関総合支援学校】

<特色>

地域の教育資源を活かして、地域の中での連携やネットワークを強化しながら、地域に開かれた「地域とともにある特別支援学校づくり」の実践に取り組むとともに、特別支援教育の充実・魅力ある学校づくりを積極的に推進する。

<主な取組内容>

- ・ 地域住民の方や福祉施設の利用者等を招き、「喫茶サービス」等を通じた交流
- ・ 地元企業や外部専門家の支援による授業実践
- ・ 「あいサポート研修会」等を活用した、地域の障害に関する理解促進
- ・ 地元短期大学・看護学校との相互学習協力
- ・ 特別支援学校作品展等において、作業学習で製作した「皮製品」等の販売

【参考】全国の特別支援学校におけるコミュニティ・スクール設置状況

- 全国的には、市立特別支援学校10校がコミュニティ・スクール（以下「CS」）を設置。
- 県立特別支援学校には、CS未設置。（H28.4.1現在）

<全国の特別支援学校におけるCS設置状況> （H28.4.1現在）

	都道府県	学校名	指定日
1	新潟県	見附（みつけ）市立見附総合支援学校	H26. 4. 1
2	神奈川県	横浜市立若葉台特別支援学校	H26. 4. 1
3	岐阜県	岐阜市立岐阜総合支援学校	H25. 4. 1
4	京都府	京都市立西総合支援学校	H17. 5. 20
5	京都府	京都市立北総合支援学校	H18. 11. 6
6	京都府	京都市立東総合支援学校	H18. 12. 11
7	京都府	京都市立呉竹総合支援学校	H18. 12. 20
8	京都府	京都市立白河総合支援学校	H20. 10. 8
9	京都府	京都市立鳴滝総合支援学校	H23. 11. 14
10	京都府	京都市立桃陽（とうよう）総合支援学校	H24. 1. 19

議案第3号

山口県社会教育委員の委嘱について

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条第2項及び山口県社会教育委員の委嘱の基準等に関する条例（昭和24年山口県条例第56号）第1条の規定により、次の者を山口県社会教育委員に委嘱する。

平成28年（2016年）7月21日

山口県教育委員会

山口県社会教育委員名簿(案)

任期：平成28年8月1日から平成30年7月31日まで

○学校教育の関係者

氏名	選任方法（推薦依頼団体・分野） 役職名	備考
うちだ しげみ 内田 重美	団体推薦（山口県小学校長会） 萩市立椿東小学校長	再任
いとう ゆきこ 伊藤 幸子	団体推薦（山口県中学校長会） 光市立浅江中学校長	再任
くによし てつろう 國吉 哲郎	団体推薦（山口県公立高等学校長会） 山口県立小野田高等学校長	新任
かわむら しげみ 河村 茂実	団体推薦（山口県私立中学高等学校協会） 学校法人河野学園下関短大附属高等学校長	新任
さくもと てるこ 作本 照子	団体推薦（山口県私立幼稚園協会） 評議員 学校法人西宝寺学園理事長 認定こども園伊佐中央幼稚園長	新任

○社会教育の関係者

ふじいえ ゆきこ 藤家 幸子	団体推薦（山口県連合婦人会） 副会長	新任
いたや たかし 板谷 正	団体推薦（山口県公立高等学校PTA連合会） 会長	新任
たわら かおる 俵 薫	団体推薦（山口県子ども会連合会） 副会長	新任
ほその みゆき 細野 美幸	団体推薦（山口県PTA連合会） 副会長	新任
にしかわ みよこ 西川 三代子	団体推薦（山口県老人クラブ連合会） 会長	再任
なかほら かずあき 中原 和昭	団体推薦（山口県公民館連合会） 会長	再任
なかむら たつお 中村 龍夫	団体推薦（山口県体育協会） 常務理事	再任
やまぐち ともこ 山口 智子	団体推薦（こどもと本ジョイントネット21・山口） 運営委員 山口地区代表	新任

○家庭教育の向上に資する活動を行う者

むらた くみこ 村田 久美子	団体推薦（山口県保育協会）保育士部会副会長 山口市立陶保育園長	再任
やすみつ まゆみ 安光 真裕美	団体推薦（山口県地域活動連絡協議会） 副会長	再任

○学識経験のある者

とよしま たかこ 豊島 貴子	指名（企業関係） 株式会社中国警備保障代表取締役社長	再任
たなか りえ 田中 理絵	指名（大学関係） 山口大学教育学部准教授	再任
えほら けんじ 江原 健二	指名（大学関係） 学校法人加計学園広報室参与（山口支局長）	新任
ひろせ まこと 広瀬 誠	指名（報道関係） 山口新聞山口支社長	新任
しょうじ かずや 庄司 一也	公募 徳山大学福祉情報学部特任講師	新任

山口県社会教育委員候補一覧表

○学校教育の関係者

任期：平成28年8月1日から平成30年7月31日まで

氏名	所属・職業	主な活動歴等
内田 重美	団体推薦（山口県小学校長会） 萩市立椿東小学校長	下関市立豊浦小学校教頭（H20.4～H23.3） 宇部市立岬小学校長（H23.4～H26.3） 山口県小学校長会副会長（H25.4～）
伊藤 幸子	団体推薦（山口県中学校長会） 光市立浅江中学校長	周南市立須々万中学校教頭（H18.4～H20.3） 山口市教育委員会副参事（H22.4～H23.3） 県教育庁社会教育・文化財課主幹（H23.4～H26.3）
國吉 哲郎	団体推薦（山口県公立高等学校長会） 山口県立小野田高等学校長	山口県教育庁教職員課教育調整監（H22.4～H24.3） 山口県立山口総合支援学校長（H24.4～H26.3） 山口県立宇部商業高等学校長（H26.4～H28.3）
河村 茂実	団体推薦（山口県私立中学高等学校協会） 学校法人河野学園下関短大附属高等学校長	学校法人河野学園事務局長（H22.9～H26.3） 下関短期大学附属高等学校長（H26.4～） 山口県私立中学高等学校協会理事（H26.4～）
作本 照子	団体推薦（山口県私立幼稚園協会） 学校法人西宝寺学園理事長 認定こども園伊佐中央幼稚園長	学校法人西宝寺学園伊佐中央幼稚園長（H13.4～H27.3） 学校法人西宝寺学園理事長認定こども園伊佐中央幼稚園長（H27.4～） 山口県私立幼稚園協会評議員（H26.4～）

○社会教育の関係者

藤家 幸子	団体推薦 （山口県連合婦人会）副会長	萩市連合婦人会長（H22.4～） 山口県連合婦人会理事（H22.4～） 山口県連合婦人会副会長（H25.4～）
板谷 正	団体推薦 （山口県公立高等学校PTA連合会）会長	山口県公立高等学校PTA連合会副会長（H22.4～H26.3） 山口県公立高等学校PTA連合会会長（H27.4～）
俵 薫	団体推薦 （山口県子ども会連合会）副会長	美祢市子ども会育成連絡協議会長（H21.4～） 山口県子ども会連合会理事（H21.6～H27.5） 山口県子ども会連合会副会長（H28.6～）
細野 美幸	団体推薦 （山口県PTA連合会）副会長	防府市立桑山中学校PTA副会長（H26～） 山口県PTA連合会副会長（H26～）
西川三代子	団体推薦 （山口県老人クラブ連合会）会長	宇部市老人クラブ連合会参与（H27.4～） 山口県老人クラブ連合会副会長（H23.5～H26.12） 山口県老人クラブ連合会会長（H26.12～）
中原 和昭	団体推薦 （山口県公民館連合会）会長	美祢市社会教育委員会議長（H20.9～） 山口県ひとつくりに財団生涯学習推進センター所長（H15.4～H18.3） 山口県公民館連合会会長（H19.10～）
中村 龍夫	団体推薦 （山口県体育協会）常務理事	県教育庁審議監（H20.4～H23.3） 山口県立西京高等学校長（H23.4～H25.3） 山口県体育協会常務理事（H25.6～）
山口 智子	団体推薦（こどもと本ジョイントネット21・山口）運営委員 山口地区代表	こどもと本ジョイントネット21・山口 運営委員 山口地区代表（H13.4～） 山口市立中央図書館協議会委員（H15.6～） 山口県環境審議会委員（H26.8～H28.7）

○家庭教育の向上に資する活動を行う者

村田久美子	団体推薦（山口県保育協会） 保育士部会 副部会長	山口市立楠木保育園長（H23.4～H25.3） 山口市立陶保育園長（H25.4～） 山口県保育協会保育士部会副部会長（H25.6～）
安光真裕美	団体推薦（山口県地域活動連絡協議会） 副会長	山口市家庭教育支援員（H22.4～） 山口県地域活動連絡協議会副会長（H16.4～） 山口県青少年問題協議会委員（H23.4～）

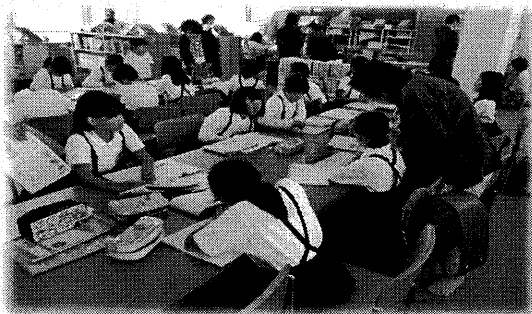
○学識経験のある者

豊島 貴子	指名（企業関係）株式会社中国警備保障代表取締役社長	教頭の長期社会体験研修への協力（H12～） 山口県商工業振興対策審議会委員（H25.1～） 岩国市観光協会副会長（H26.6～）
田中 理絵	指名（大学関係） 山口大学教育学部准教授	日本学術振興会特別研究委員（H12.4～） 山口大学講師（H13.4～H18.3） 山口大学准教授（H18.4～）
江原 健二	指名（大学関係） 学校法人加計学園広報室参与（山口支局長）	山口県立下関南高等学校長（H17.4～H21.3） 山口県公立高等学校 PTA 連合会事務局長（H21.4～H21.5） 長門市教育委員会教育長（H21.5～H28.3）
広瀬 誠	指名（報道関係） 山口新聞山口支社長	山口新聞山口支店営業部長（H19.2～H23.2） 山口新聞東京支社長（H23.2～H26.2） 山口新聞山口支社長（H26.2～）
庄司 一也	公募 徳山大学福祉情報学部特任講師	武蔵野多摩環境カウンセラー協議会 会員 情報コミュニケーション学会 評議員

意見交換

番号	件名	主管課
1	「やまぐち型地域連携教育」の推進について	義務教育課 社会教育・文化財課

「やまぐち型地域連携教育」の 推進について



義務教育課
社会教育・文化財課



1

子どもを取り巻く社会環境

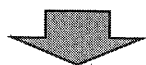
少子高齢化、核家族化、地域住民同士のつながりの希薄化、高度情報化の進展など社会環境が大きく変化する中で、子どもの育ちに関する様々な課題が、指摘されています。

2

学校、家庭、地域の連携協力の必要性

子どもたちの豊かで健やかな成長

学校や子どもたちが抱える課題解決



学校・家庭・地域それぞれの役割を果たしつつ社会総がかりでの教育の実現が不可欠



子どもたちの「生きる力」

3

新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について

教育再生実行会議第6次提言（H27.3.4）

- コミュニティ・スクールの未導入地域における取組の拡充や、学校支援地域本部等との一体的な推進
- 地域と相互に連携・協働した活動を展開するための抜本的な方策
- コミュニティ・スクールの仕組みの必置についての検討推進
- コミュニティ・スクールを小中一貫教育の取組と連携して進めることは効果的
- 学校と地域をつなぐコーディネーターの配置
- 学校を核とした地域づくりへの発展 など

中央教育審議会への諮問（H27.4.14～）

- 今後のコミュニティ・スクールの在り方
- 全ての学校のコミュニティ・スクール化に係る総合的な方策の検討
- 学校と地域がパートナーとなり、連携・協働体制を築くための地域人材の養成と環境整備

4

新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について

中央教育審議会 答申 (H27. 12. 21)

- 全ての公立学校において、地域の方や保護者等が学校運営に参画する仕組みとして、コミュニティ・スクールをめざすべきである。
- 全小・中学校区において、地域における学校との協働体制として、新たに「地域学校協働本部」の構築をめざすべきである。

- 現状の様々な課題を乗り越えてくために、「学校と地域」がパートナーとして相互に連携・協働し、主体性を持った社会の担い手を育成する。
- 大人も子どもも学び続ける生涯学習社会やあらゆる世代が一体となった地域の活性化、地方創生の実現をめざす。

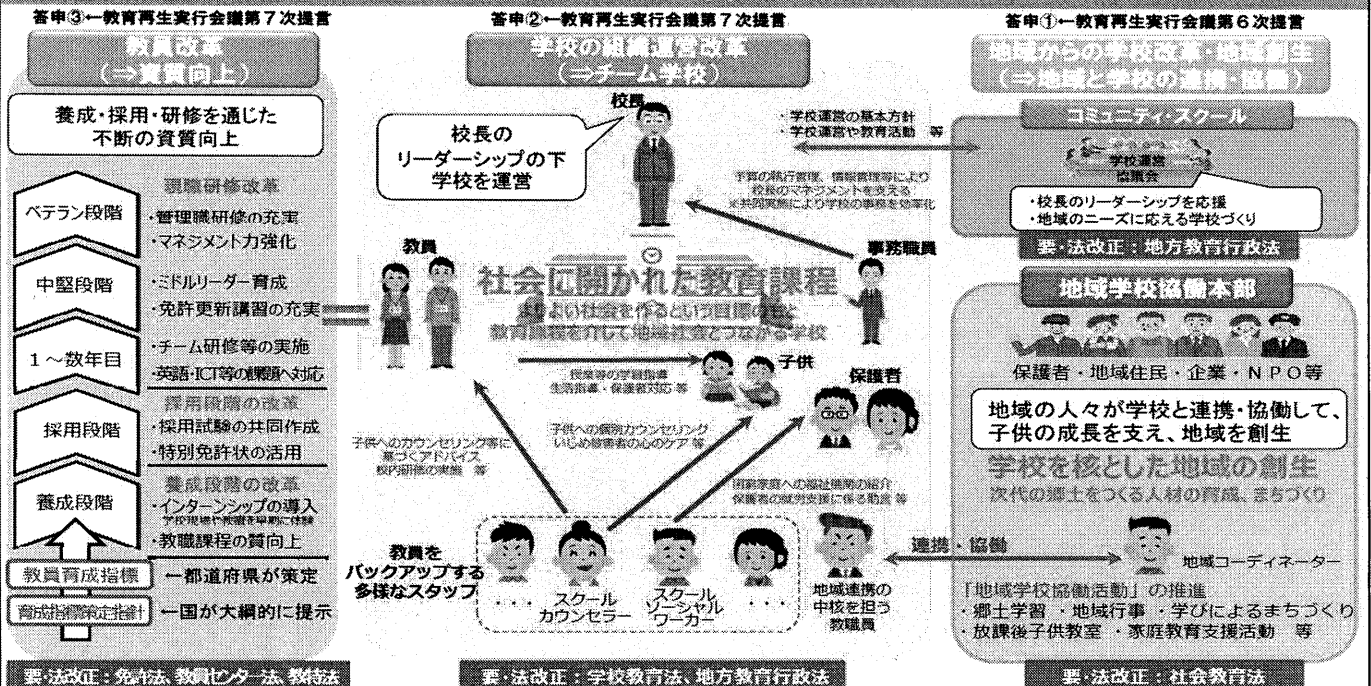
5

「次世代の学校・地域」創生プラン ～学校と地域の一体改革による地域創生～について

「次世代の学校・地域」創生プラン（馳プラン）

資料 3

～中教審3答申の実現に向けて～



「次世代の学校」の創生に必要な不可欠な教職員定数の戦略的充実
 子供たちが自立して活躍する「一億総活躍社会」「地方創生」の実現

元気創出やまぐち！ 未来開拓チャレンジプラン

Ⅲ 人材活力創造戦略

10 次代を拓く教育充実プロジェクト 重点施策36

社会総がかりによる「地域教育力日本一」 の取組の推進

〔施策の方向〕

- 「コミュニティ・スクール」で子どもも大人もイキイキとする地域にやさしい学校づくり
- 「地域協育ネット」による日本一の「学校、家庭、地域の温かい絆づくり」の推進

7

山口県教育振興基本計画

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

3つの 施策の柱

- 1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進
- 2 質の高い教育環境づくりの推進
- 3 生涯にわたる県民総参加の教育の推進

重点化

10の緊急・重点プロジェクト

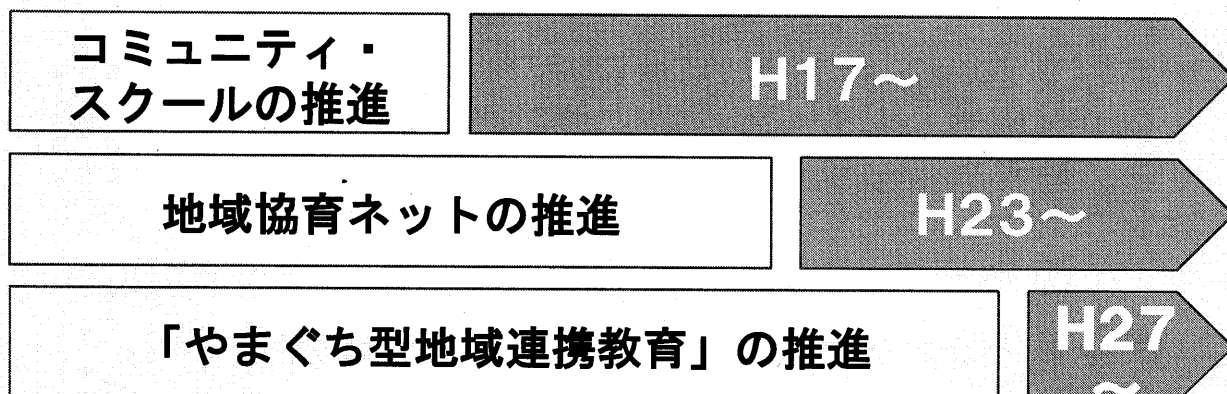
1 地域ぐるみの教育推進プロジェクト

- 「コミュニティ・スクール」や「地域協育ネット」の充実（一体的に推進）
- 学校・家庭・地域が連携・協働して次代を担う子どもの育成

8

山口県の地域連携教育の歩み

年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29					
山口県	山口県教育ビジョン (H10.3策定) H10~24 (15年間)															山口県教育振興基本計画 H25~29 (5年間)									
																改定教育振興基本計画									
国																教育振興基本計画					第2期教育振興基本計画				



H28. 4. 1 県内の全ての市町立小・中学校がコミュニティ・スクールに指定

山口県のめざす「コミュニティ・スクール」3つの機能

- 学校運営** — 学校運営の質の向上
- 学校支援** — 学校教育の質の向上
- 地域貢献** — 学校を核とした
人づくり・地域づくり

山口県の「めざす学校像」

- ☆ 地域に開かれた学校
- ☆ 地域づくりに貢献できる学校
- ☆ 地域の人々の拠り所となる学校

「地域協育ネット」とは

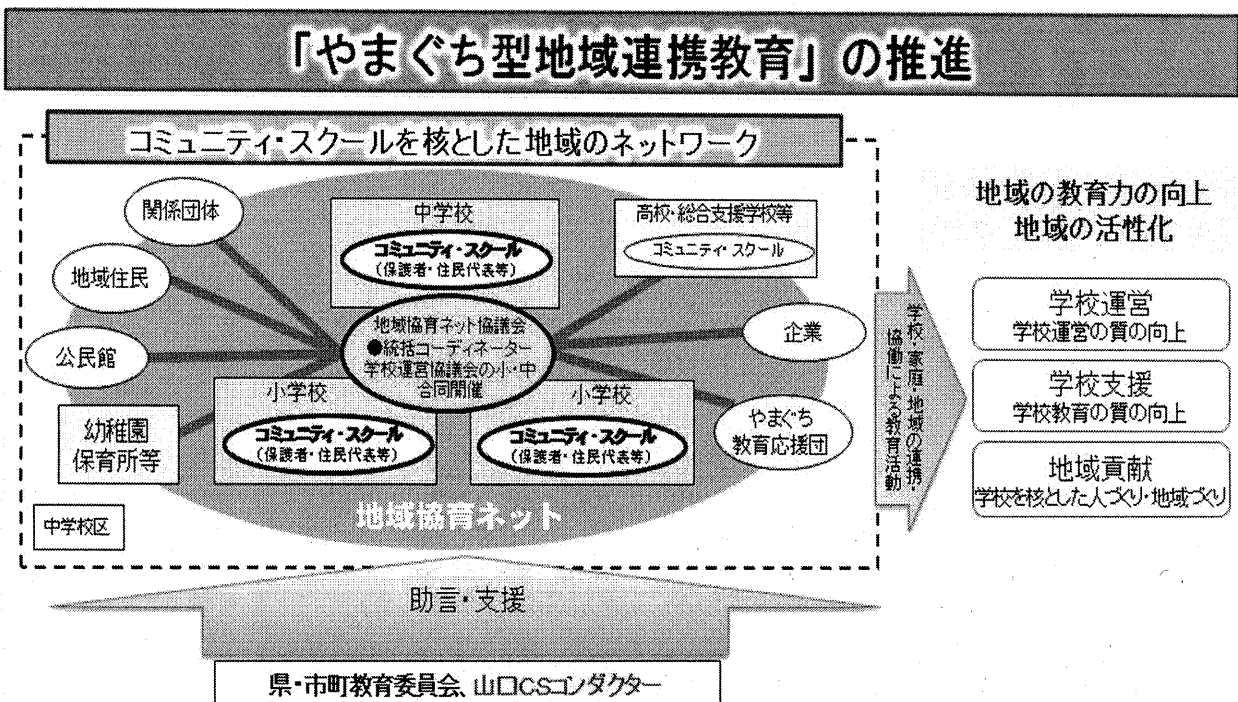
おおむね中学校区をひとまとまりとした

- 子どもたちの健やかな育ちを目的とした
- 幼保・小・中・高のつながりのある
- 学校や保護者、地域の人々が連携した

子どもたちの15年間の育ちを地域ぐるみで見守り、支援するための仕組み

「やまぐち型地域連携教育」について

「やまぐち型地域連携教育」のイメージ図



「やまぐち型地域連携教育」の充実に向けた県教育委員会の取組

①全県的な推進体制の強化

②研修会の実施

③推進の核となる人材の配置・養成

④好事例の普及・啓発

⑤熟議の場づくり支援

⑥学校教育と社会教育の連携体制の構築

⑦県立学校へのコミュニティ・スクールの導入

13

①全県的な推進体制の強化

コミュニティ・スクール

山口県コミュニティ・スクール推進協議会の開催

- ・ 県の取組方針や課題等について協議 (年2回)
- ・ 各市町コミュニティ・スクール推進協議会の代表、有識者等

地域協育ネット

山口県「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進
会議の開催

- ・ 県の取組方針や課題等について協議 (年2回)
- ・ 社会教育関係団体の代表、有識者等

合同開催へ

14

②研修会の実施

やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバルの開催

・ 12月17日（土） 周南市文化会館

やまぐち地域連携教育の集い

- 8月23日（火） ラポールゆや
- 10月 7日（金） 和木町保健相談センター
- 10月31日（火） 防府市立大道小学校
- 11月 5日（土） 周防大島町大島文化センター
- 11月28日（月） 不二輸送機ホール（山陽小野田市文化会館）
- 11月29日（火） 周南市学び・交流プラザ
- 12月 3日（土） 下関市教育センター

15

③推進の核となる人材の配置・養成

山口CSコンダクターの配置

H27：13市⇒H28：全19市町

- 県内19市町の教育委員会に配置し、モデル中学校区を中心に各コミュニティ・スクールの取組の充実、学校運営協議会の合同開催による小中連携の取組の充実などを推進するために、各学校の訪問指導・連携支援等を行う。
- コミュニティ・スクールに関する理解と経験をもつ退職校長等を配置

統括コーディネーターの中学校区への配置促進

コーディネーター・家庭教育アドバイザーの養成

- コーディネーターの心得、企画運営の総合的なスキル等（年8回）
- コーディネーターステップアップ講座（年4回）
- 家庭教育支援の実際、コミュニケーションスキル等（年8回）
- 家庭教育アドバイザーステップアップ講座（年4回）

16

④ 好事例の普及・啓発

PR用DVDの作成・配付

- ・「やまぐち型地域連携教育」の取組の紹介

実践事例集の作成・配付

- ・コミュニティ・スクールや地域協育ネットの取組の紹介

広報番組を活用した情報発信

- ・「はつらつ山口っ子」（15分）による取組の紹介（年10回放映）

⑤ 熟議の場づくり支援

「熟議サポート事業」の推進

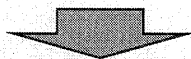
- ・学校運営協議会や地域協育ネット協議会等における熟議をサポート

17

⑥ 学校教育と社会教育の連携体制の構築

県教育委員会の体制強化

義務教育課と社会教育・文化財課の各担当者による連携
(~H27)



「やまぐち型地域連携教育推進班」の設置 (H28~)
・義務教育課、社会教育・文化財課、教育政策課の連携強化

コミュニティ・スクールと地域協育ネットの一体的な推進

コミュニティ・スクール及び地域協育ネット担当者及び
山口CSコンダクターの合同会議 (年3回)

18

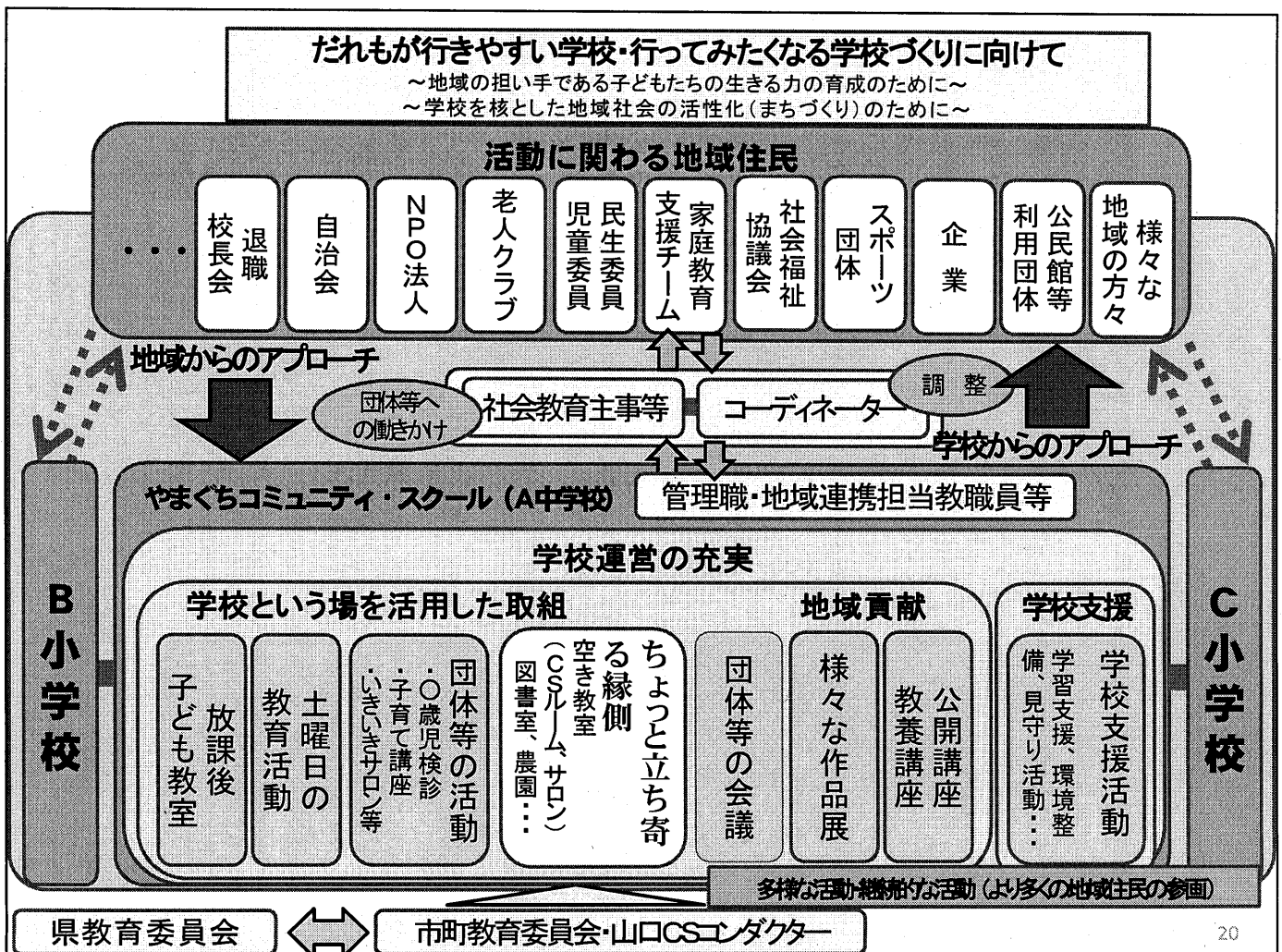
⑦県立学校へのコミュニティ・スクールの導入

県立高校3校にコミュニティ・スクールを導入 (H28.4.1)

- ・ 地方創生、特色ある学校づくり

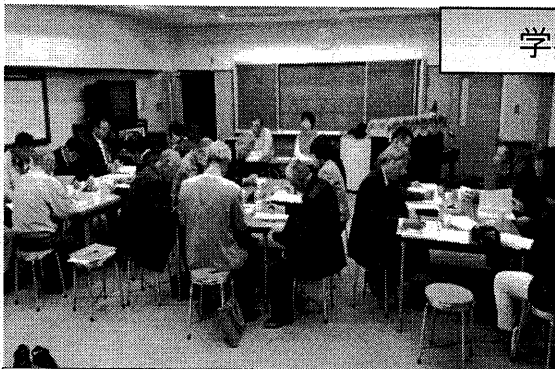
平成30年度末までに、特別支援学校12校にコミュニティ・スクールを導入

- ・ 共生社会の形成をめざした、特別支援学校を核としたインクルーシブ教育システムの構築
- ・ 学校が地域住民や、医療、福祉、労働等の関係機関と連携を一層強化

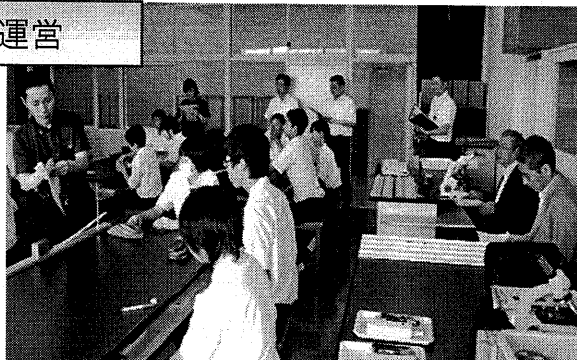


具体的な取組 ①

学校運営



学校運営協議会とは別に、毎月、企画推進部会が開かれ、活動の進捗状況の確認と次の目標の確認が行われている。



人材育成ユニット研修で学校運営協議会委員に授業参観していただき、授業後、授業についての協議にも参加していただいた。

学校支援



美術科において考えた和菓子のデザインをもとに、家庭科で地域の食生活改善推進員のアドバイスをいただきながら、和菓子作りに取り組んだ。



地域の子育て支援サークルの協力を受け、乳幼児とその母親・父親が11月6・10・11日の3日間にわたって中学校に來校し、3年生が子育てについて学んだ。

21

具体的な取組 ②

地域貢献



校内に地域の方とのふれあいスペースが設置されており、たくさんの地域の方が学校を訪れている。写真は、中学生が地元の歴史や文化に関する手作りカルタを使って、地域の方と交流している様子。

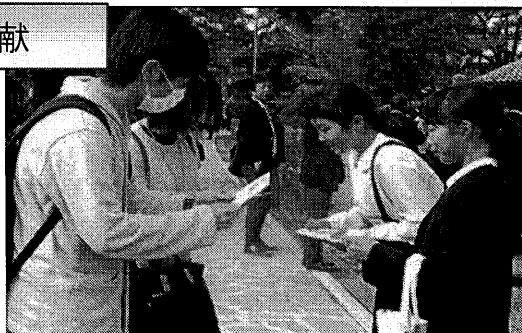


公民館で行われている「ちぎり絵」「押し花」などの講座で作成された作品を校内に展示し、児童が鑑賞した感想を公民館に届けることで、地域の方々との交流の輪が広がっている。

地域貢献



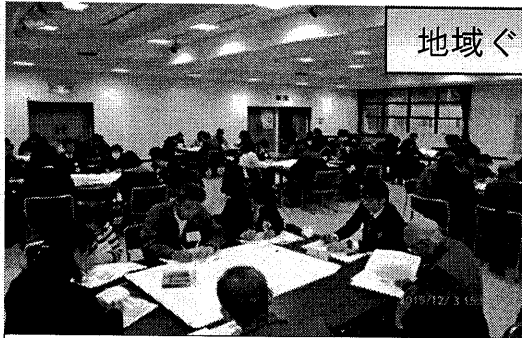
中学生が、卒業した6つの小学校ごとにグループに分かれ地域の方と「地域とつながり思いやりのある子ども」をテーマに熟議を行い、自分たちにできることを考え、発表した。



萩市世界遺産推進課や観光課等と連携し、地域の史跡や偉人について現地学習等で学んだことをパンフレットにまとめ、松陰神社にて観光客へ説明をしながら配付した。

22

具体的な取組 ③

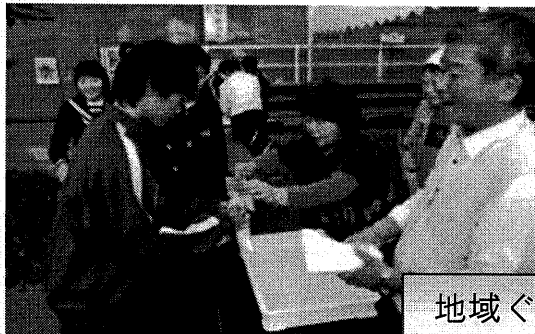


地域ぐるみの取組

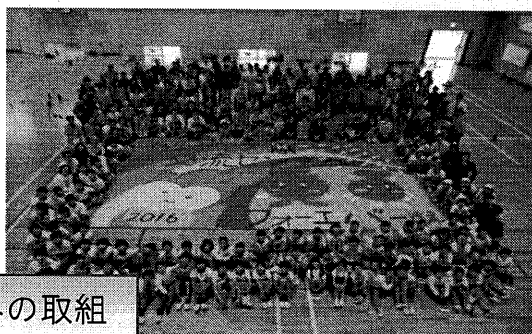
小中の教職員、保護者、学校運営協議会委員により「小中学校で育てたい子ども像」をテーマとして熟議を行った。



三つの小学校と中学校の教職員と学校運営協議会委員による熟議をもとに、「にこにこあいさつプラン」に取り組んでいる。中学生が校区の各小学校や人通りの多い交差点に立ち、地域の方と一緒に、あいさつ運動を行っている。



児童、生徒、地域住民約600名が参加した防災訓練（煙霧、給水、炊き出し体験等）を実施した。



地域ぐるみの取組

小学校児童と地域の方260名で建て替えとなる地域交流センターへ感謝の気持ちを込めて、三世代で折り紙や貼り絵による巨大な壁画を作成した。

具体的な取組 ④ <コミスクだより>

子どもと一緒に生涯学習

中学生と一緒にわくわく楽習スクールに参加しませんか？

～よみっこ倶楽部～



～無事力エル隊～



～まごころ届け隊～



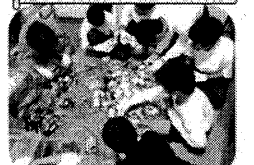
～百人一首で遊ぼう～



～けん玉倶楽部～



～ベルマーク整理～



学校で生涯学習講座を「わくわく楽習スクール」として定期的に開催している。昼休みの時間帯から開催することで、子どもたちは、楽しく生涯学習を学び、地域の方と交流する良い機会となっている。

地域に発信

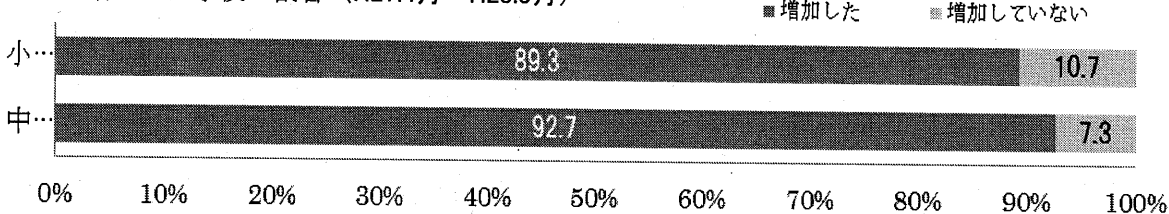


コミュニティ・スクール便りを漫画で作成し、学校運営協議会の仕組みや具体的な取組、学校支援ボランティアへの参加・協力など、読みやすくわかりやすい工夫をして作成・配布し、取組の周知を図っている。

「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ①

地域の方の来校数の増加

来校数が増加した学校の割合 (H27.4月～H28.3月)



平成27年度の来校者のべ人数<概数>

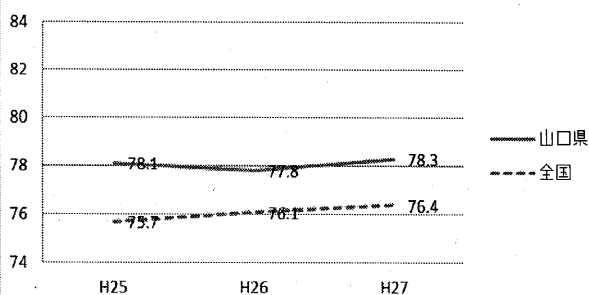
- ・ 小学校 来校者数1000人以上・・・160校(300校中)
最大 約15000人
- ・ 中学校 来校者数1000人以上・・・54校(151校中)
最大 約4530人

※上記の来校者数には、文化祭、運動会、見守り活動は除く

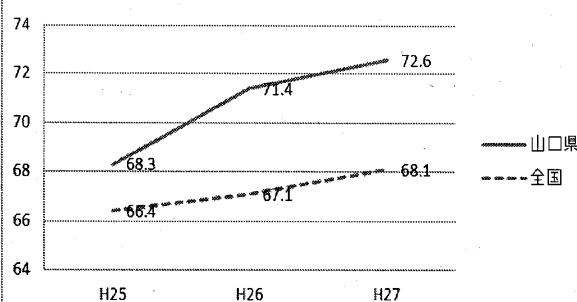
「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ②

自己肯定感の高まり

自分にはよいところがある(小学生)

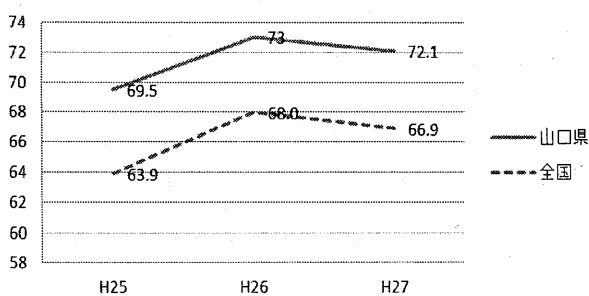


自分にはよいところがある(中学生)

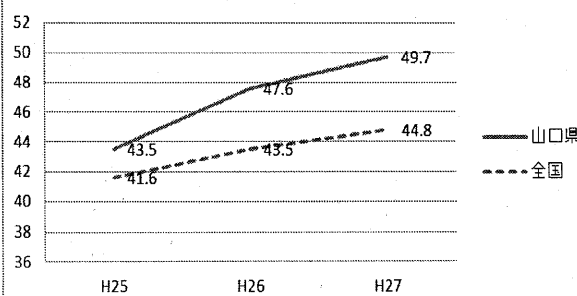


郷土を愛する心の高まり

今住んでいる地域の行事に参加している(小学生)



今住んでいる地域の行事に参加している(中学生)



「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ③

子どもの声

- 補充学習に参加し、地域の方に教えていただくことで、勉強が楽しいと思えるようになった。
- 地域の方と話をする中でいろいろなことが聞けるので知識が増えてうれしい。
- 地域の伝統文化をしっかりと引き継いでいきたい。
- 地域の方に見守られているという、温かみやありがたみを感じる。
- お世話になった地域のみなさんのように、だれかの支えになれるような深い思いやりのある人を目標にがんばりたい。
- 職場体験学習で学んだことを生かして、将来、地域に貢献したい。

27

「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ④

子どもの声 (山口市立仁保中学校生徒の英語弁論大会発表原稿より一部抜粋)

コミュニティ・スクールで感じたことを2つ、皆さんにお伝えします。
1つめは、地域の方なくして、心豊かに過ごすことはできないことです。地域のみなさんが私たちをサポートしたり、多くのことを教えてくださったりしています。私たちも恩返しとして、手伝えることは積極的に行います。世代を超えて助け合えるのは、理想の社会です。仁保中は、それが可能な場所だと自信を持って言えます。

2つめは、様々な行事をとおして、自分のふるさとである仁保への感謝や愛着の気持ちが、さらに深まってきました。

僕には夢があります。それは、将来、仁保に住み、コミュニティ・スクールの大人のリーダーになることです。そして、現在、仁保地域の方々が、私たちにしてくださっているように、将来の子どもたちに恩返しをしたいです。

28

「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ⑤

地域の方の声

- 子どもの姿、顔を見るだけで、元気をもらえる。
- 子どもと一緒に活動をするのが、やりがいや生きがいにつながっている。
- 今、神楽を教えている子が、何年か先に地域にもどってきて、一緒に次の子どもたちに指導することができたらうれしい。
- 先生たちと意見を出し合い、協力し合い、一つのこと
ができあがっていくことに、喜びを感じる。
- 子どもたちは、大人と接することで信頼感や幅広い考え、柔軟性を身につけていくと思う。地域が子どもを育てていると感じる場面が多くある。
- 子どもたちが落ち着いてきた。よく挨拶をするようになってきた。

29

「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ⑥

保護者の声

- 補充学習に参加して、地域の方に教えていただくことにより、子どもの勉強に対する構え、姿勢が大きく変わった。
- 土曜講座は、サツマイモの苗植えなど、家ではなかなかできないことをたくさん体験させていただけるので、とてもありがたい。子どもも喜んでいるので、また参加したい。
- 子どもたちが地域と関わることが多くなり、今後もその関係が続き、よりよく育ってくれたらと思っている。
親も子どもと一緒に育っていったらと思っている。
- 地域の方が、子どものいけないところを指導してくださるし、親にも注意してくださることをありがたく感じている。
- 学校のことがよく分かり、学校が力を入れていることがよく分かるので、毎回楽しく学校運営協議会に参加している。

30

「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ⑦

先生の声

- 地域の方との交流を通して、子どもたちが成長していくのが手に取るようにわかるのが楽しい。
- 子どもが変わる、学校が変わる、地域が変わるのが目に見えて表れるので、やりがいを感じる。
- 地域の方に教えていただくことにより、自分自身が勉強になった。
- 自分たちが企画した計画が、地域の人たちの協力で実現したことにより、達成感が得られる。
- 行事等を作り遂げたとき、地域の人たちと喜びを共有でき、充実感を味わえた。
- 地域の方から感謝の言葉を聞いた時に、応援していただいたことをとてもうれしく感じる。

31

【意見交換の視点】

やまぐち型地域連携教育の一層の充実

- ・ これからの学校と地域の協働の姿について

32